



うちのイチ押し!

総合生涯
学習センター

暮らし・地域活動で役立つ知識・情報を
大阪市職員があなたの近くに届けます!!

大阪市出前講座のご案内

「大阪市出前講座」は、大阪市の取り組みや暮らしに役立つ知識・情報などを説明し、市民のみなさんにとって必要な課題やテーマについて学習する機会を提供することを目的としています。地域や職場で構成された団体・グループを対象に、大阪市職員がご用意いただいた場所へ講師としてお出かけいたします。「令和2年度 大阪市出前講座」の内容、お申し込みは、チラシのほかに総合生涯学習センターのホームページもしくは**いちょうネット**をご覧ください。

※実施については、新型コロナウイルス感染防止対策を講じていただく必要があります。詳しくはお問い合わせください。



市政の
しくみ



都市計画・
交通



くらし・
人権



生涯学習・
市民活動・
まちづくり



子育て・
教育



健康・福祉



歴史・文化



防災・安全



環境



こちらのQRコードから
チラシの確認・お申し
込みができます。



おおさか

歴史 探訪

147

大阪の史跡や歴史
資料を毎月連続で
ご紹介します。

民俗学者・折口信夫と大阪

大阪も夏祭りの季節となりました。とはいっても今年は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、残念ながら行事を中止や縮小せざるをえないところも多くなっています。

こうした祭りのなりたちをはじめ、日本の文化について幅広い研究をのこした折口信夫は大阪の出身です。折口は明治20(1887)

年、大阪の西成郡木津村(現在の浪速区敷津西)の医師の家に生まれ、幼少の頃より和歌や文学に関心をもちました。国学院大学に進み、大学卒業後しばらくのあいだ府立今宮中学(現在の今宮高校)で教師となっています。その後、国文学や民俗学の研究をすすめ、国学院大学や慶応義塾大学でながら教鞭をとりました。その研究は万葉集研究をはじめとする国文学にはじまり、柳田國男らの影響も受けながら民俗学を発展させ、芸能や古代人の世界観、天皇論など幅広く研究しました。その学問はさまざまな分野を含みこんでいて「折口学」といわれることもあります。さらにしやくちゆうくうの名で歌人としても活躍し、『死者の書』など小説も著すなど幅広い著作をのこし、その独自の世界は現在にいたるまで多くの人々をひきつけています。

昭和28(1953)年に亡くなり、墓は石川県羽咋市にあります。浪速区の願泉寺にも分骨され墓が設けられています。生誕地に近い浪速区かもめちゆう公園には生誕地を示す顕彰碑や文学碑があり、ほど近くの敷津松之宮・大国主神社には歌碑も建てられています。



折口の生誕地を示す顕彰碑と文学碑(浪速区敷津西1-7)